

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 本厚木駅前ホテル計画新築工事	階数	地上12F
建設地	神奈川県 厚木市中町2丁目915番	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	240 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	飲食店、ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2019年3月4日
敷地面積	662 m ²	作成者	株式会社秀研設計
建築面積	495 m ²	確認日	2018年3月5日
延床面積	4,290 m ²	確認者	株式会社秀研設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	室内環境、サービス性能、エネルギー、資源・マテリアル、敷地外環境を基本とした計画であり中でも光・視環境においては特に優れた計画である。	その他 特になし
Q1 室内環境	光・視環境において昼光率を客室2.2%、共用部5.7%確保し、空気質環境において仕上材を全面的にF☆☆☆☆建材を用いる仕様とした。	Q3 室外環境(敷地内) 室外環境(敷地内)において標準的な取組がなされた計画としている
LR1 エネルギー	設備システムの効率化において通常よりも優れた計画がなされている	LR3 敷地外環境 敷地外環境においてCO ₂ 削減率が33%であり地球温暖化への配慮がなされた計画である
Q2 サービス性能	サービス性能において、広さ・景観に配慮し天井高さを客室2.6m以上確保した。 外部露出金物は溶融亜鉛メッキ処理した建材を使用し防錆対策を講じた。	
LR2 資源・マテリアル	部材の再利用可能性への取組において躯体材料及仕上材が容易に分別可能な計画としている	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される